

indicio  
proven<sup>®</sup>

## v1 APIチュートリアル

このチュートリアルでは、Proven APIの主な機能を使用し、独自のワークフローを構築するための一連の手順を説明します。

行使される3つの主要機能は以下の通り：

1. 接続
2. クレデンシャルの発行
3. クレデンシャルの検証

## 招待APIを呼び出す

接続するためには、一方のエージェントが他方のエージェントに招待状を発行する必要があります。一般的に、サーバエージェントは、QRコードでエンコードされた招待URLを表示することで、モバイルエージェントに招待を発行します。

Invitations API を使用すると、Proven API から招待 URL をリクエストできます。

次のAPIエンドポイントを使用して[ください](https://proven-intro.indiciotech.io/api/v1/invitations)：[https://proven-](https://proven-intro.indiciotech.io/api/v1/invitations)

[intro.indiciotech.io/api/v1/invitations](https://proven-intro.indiciotech.io/api/v1/invitations)

x-api-keyヘッダーを設定します：9^2m@qw2w885dKXxaup6TQ&CQT4@=RNW (または本番APIキー)

POST本文として以下を送信する：

```
{  
  "contact_id": "",  
  "エイリアス": 「API  
  Invitation」、 「  
  invitation_type」: "CV1",
```

```
"invitation_mode": "once"
、 "accept": "auto",
"public": false、
"invitation_role": "Holder",
"invitation_label": "CV1"、
"invitation_status": "active"
、
"invitation_description": "APIを通じて作成された招待",
"invitation_active_starting_at": null,
"invitation_active_ending_at": null、
"uses_allowed": ""
}
```

APIは次のような応答を返す:

```
{"invitation_url": "https://proven.mediator.indiciotech.io?c_i=eyJAdHlwZSI6ICJkaWQ6c292OkJ6Q2JzT1loTXJqSGlxWkRUVUFTSGc7c3BlYy9jb25uZWNOaW9ucy8xLjAvaW52aXRhdGlvbiIsICJAaWQiOiAiNmQ0Y2QxZjYtNWJmMi00MjQ3LTg1ZmQtY2UxNzk5MjYNDY3IiwgInJlY2lwaWVudEtleXMiOiBbIkFjOTFEWHE2ZEZzWXBZcmMyVlMzWDRrUnhHWGZtaGhaVXo1NUpsUkdSdkF5Il0sICJyb3V0aW5nS2V5cyI6IFsiRXJLRGVkNkQ1Tm9nUXpMVlBwczlrcFNXYWdxTndiVlE4RXpIcGdoTHE4UlQiLCAiMkRBQjZNU2V2bnFjc2ZoMzJIIEFrldlBIcHNzVmY3Wnl0UlZHOTHdXZXUjUiXSXSwgImxhYmVsIjogIlByb3ZlbiIsICJzZXJ2aWNlRW5kcG9pbmQiOiAiaHR0cHM6Ly9wcm92ZW4ubWVkaWF0b3IuaW5kaWNpb3RlY2guaW8ifQ==", "invitation_id": 52, "contact_id": ""}.
```

## コネクションを確立する

招待状を取得したら、それを使用して2つのエージェント間の接続を確立できます。API レスポ

ンスから `invitation_url` を取得し、接続するエージェントに渡します。

Postmanで作業する場合、`invitation_url`をコピーし、<https://www.qr-code-generator.com/>のようなウェブサイトを使用して、Holdr+のようなモバイルエージェントが読み取れるQRコードを作成し、表示することができます。

Holdr+を使ってQRコードを読み取るには、下部メニューの真ん中にある「Connect」をクリックし、カメラをQRコードに向けてください。

接続エージェントがQRコードを読み取って接続すると、Proven UIの "連絡先 "に最新の接続が表示されます。

## クレデンシャルの発行

接続を確立した後、実行できる2つの重要な操作の1つは、クレデンシャルを発行することである。

クレデンシャル API を使用して、特定の連絡先にクレデンシャルの発行をリクエストで

きます。次の API エンドポイントを使います: [https://proven-](https://proven-intro.indiciotech.io/api/v1/credentials)

[intro.indiciotech.io/api/v1/credentials](https://proven-intro.indiciotech.io/api/v1/credentials)

x-api-keyヘッダーを設定します: 9^2m@qw2w885dKXxaup6TQ&CQT4@=RNW (または本番 APIキー)

POST本文として以下を送信する (invitation\_idまたはcontact\_idは、上記のinvitations APIコールで使用したものと一致する必要があることに注意) :

```
{
  "invitation_id": 52, "contact_id"
  : "",
  "schema_id": "Gj39gdivhMneKBaamMsX7P:2:User:1.0", "属性": [
    {
      "name": "user_email", "value"
      : "mike@indicio.tech"
    },
    {
      "name": "ユーザー名", "値"
      : "mike.ebert"
    }
  ],
}
```

```
{
  "name": "user_id",
  "値": "1"
},
{
  "name": "user_roles", "value"
  : "admin"
}
]
```

```
}
```

APIは、うまくいけば以下のようなメッセージを返す：

```
{
```

```
  "成功": "クレデンシャルが提供された"
```

```
}
```

そして、接続されたエージェントにクレデンシャルオファーが届きます。Holdr+では、ホーム画面に通知が表示され、クリックするとオファーの詳細が表示され、"Accept"または"Decline"をクリックすることができます。

検証ステップで使用できるように、クレデンシャルのオファーを受け入れる。



## 検証のリクエスト

接続を確立した後、実行できる 2 番目のキー操作はクレデンシャルの検証である。このチュートリアルでは、前のステップで発行したばかりのクレデンシャルを検証する。

検証 API を使用して、特定の連絡先からクレデンシャルの検証を要求できます。

次のAPIエンドポイントを使用して [ください: https://proven-intro.indiciotech.io/api/v1/verifications](https://proven-intro.indiciotech.io/api/v1/verifications)

x-api-keyヘッダーを設定します: 9^2m@qw2w885dKXxaup6TQ&CQT4@=RNW (または本番APIキー)

POST本文として以下を送信する (invitation\_idまたはcontact\_idは、上記のinvitations APIコールで使用したものと一致する必要があることに注意) :

```
{
  "invitation_id": 52,
  "contact_id": "", "スキーマ": [
    {
      "schema_id": "Gj39gdivhMneKBaamMsX7P:2:User:1.0",
      "schema_attributes": [
        "user_email"
      ]
    }
  ],
  "タイムアウト": "10",
  "ルール": "ルールなし"
}
```

APIは次のような応答を返す:

```
[  
  {  
    "verification_id": 3,  
    "connection_id": "27194181-8bf5-4207-aad3-51e7ad7bba5",
```

```
    "contact_id": null,  
    "invitation_id": 52,  
    "schema_id": "Gj39gdivhMneKBaamMsX7P:2:User:1.0",  
    "schema_attributes": [  
        "user_email"  
    ],  
    "タイムアウト": 10,  
    "rule": "no rule",  
    "meta_data": null,  
    "complete": false,  
    "result": false,  
    "result_string": "Pending",  
    "result_data": null,  
    "presentation_exchange_id": [  
        "911fe7d1-1485-4997-99d8-ef858c9eab64"  
    ],  
    "エラー": "",  
    "created_at": "2024-01-16T21:05:23.816Z",  
    "updated_at": "2024-01-16T21:05:27.000Z"  
    }  
]
```

そして、接続されたエージェントにプレゼンテーション依頼が届きます。Holdr+では、ホーム画面に通知が表示され、クリックするとリクエストの詳細が表示され、"Accept"または"Decline"をクリックすることができます。

次のステップで確認できるように、クレデンシャル情報を送信する要求を受け入れる。

## 検証状況のリクエスト

接続エージェントからクレデンシャルの提示を要求した後（接続エージェントを制御しているのがあなたであれば、それを共有する）、その検証結果を要求することができます。ユーザが本当に素早かったり、タイムアウトが長かったりする場合は、検証リクエスト自体にデータが戻ってくることもありますが、通常は人的要因のため、後でデータをリクエストする必要があります。

検証 API から検証結果をリクエストするには、GET メソッドと検証の ID 番号を含む URL を使用します。たとえば、最後のステップの検証リクエストの ID は 3 です。

URLに正しいIDを指定して、以下のAPIエンドポイントを使

用する: <https://proven-intro.indiciotech.io/api/v1/verifications/3>

x-api-keyヘッダーを設定します: 9^2m@qw2w885dKXxaup6TQ&CQT4@=RNW (または本番 APIキー)

APIは次のような応答を返す:

```
{
  "verification_id": 3,
  "connection_id": "27194181-8bf5-4207-aad3-51e7ad7bbee5",
  "contact_id": null,
  "invitation_id": 52,
  "schema_id": "Gj39gdivhMneKBaamMsX7P:2:User:1.0",
  "schema_attributes": [
    "user_email"
  ],
  「タイムアウト」10,
```

```
"rule": "no rule",  
"meta_data": null,  
"complete": true,  
"result": true,  
"result_string": 「Verified」,  
"result_data": [  
  {  
    "name": 「user_email」、
```

```
      "値": "mike@indicio.tech"
    }
  ],
  "presentation_exchange_id": [
    "911fe7d1-1485-4997-99d8-ef858c9eab64"
  ],
  "エラー": "",
  "created_at": "2024-01-16T21:05:23.816Z",
  "updated_at": "2024-01-16T21:05:33.964Z"
}
```

ここで注目すべき重要な点は、`result_data` である。これで、リクエストした各属性の値を見ることができ、他のクレデンシャルや、既存または新しいシステムの他の部分で使うことができます。